

◎だれもが希望を求めている今こそ働きどき

先月10日に開会した9月議会も26日間の会期を終え、去る5日に閉会しました。

今般の補正予算285億36百万円のうち、**新型コロナウイルス感染症に要する経費は211億72百万、災害関連・復旧に要する経費71億77百万円**で、これまで自民党政調会でまとめ要望した内容（コロナ関連では計3回要望）が**十分反映された施策**となっています。また、事業継承の加速化支援や製造業の生産性向上等の支援など、守りの姿勢ばかりではなく県内経済活動の回復・拡大対策に積極的に臨む姿勢も見られました。

今議会で可決されたものを含め、**新型コロナウイルス感染症対策予算は累計で1071億62百万円**となりました。今後は、実行された施策・事業の検証を行い、これからもwithコロナのなか、限られた予算内で県民のニーズに応え、更なる有効な施策をどう優先的に展開できるかその最適解を行政とともに見出していかなければなりません。

コロナ禍のなかで私自身は外回りを控え、政調会活動に専念させて頂いています。特に6月議会終了後**21市町を全て廻り**、コロナの影響や取り組み、県への要望等の聞き取りを行い、各種団体との意見交換等を活発に展開してきました。また最終日には知事に対して「**人材確保の提言**」も行ってきたところです。今こそ経験を活かし皆様のご支援のもと全力で取り組みます。



自民県連の外間雅広幹事長（右）から提言書を受け取る知事＝県庁（10/6 長崎新聞）

**医療福祉など
人材確保提言**
自民県連が県に
人口減少に伴い労働力不足が顕在化する「2040年問題」対策として自民党県連は5日、新産業・建設業、農林水産業、医療福祉の3分野の人材確保について県に提言した。

新産業・建設業では、県内の大学などから輩出されるIT人材は県内企業との共同研究に学生を参加させるなど産学官が連携して対応。農林水産業では、「農の雇用事業」研修期間の延長や、外国人が安心して就業できるソフト、ハード面の環境を整備。医療福祉については、離島・へき地の医師不足解消のため資金貸与事業などの推進、介護職イメージアップのPR強化などを求めた。

県連は昨年暮れから、政務調査会を中心に3分野のプロジェクトチームを立ち上げ、関係団体の意見を聞き提言を取りまとめた。

中村法道知事は「最近新型コロナウイルス感染症拡大に伴いリモートワークを含めて働き方が変わってきている。首都圏からの社会的な人口流出が流入を初めて上回っており、県内に人材を呼び込む施策を充実させた」と述べた。（堂下康一）

自民党県連政調会の活動と県議会予定

- | | |
|-----------------------------------|-------------------------------------|
| 6/26 観光関係者との意見交換会 | 8/28 政調キャラバン（佐々町～平戸市～松浦市） |
| 7/15 政調キャラバン（五島市） | 政調キャラバン（大村市～諫早市） |
| 7/16 政調キャラバン（新上五島町） | 8/31 政調キャラバン（小値賀町） |
| 7/17 政調キャラバン
（西海市～時津町～長与町） | 9/1 政調キャラバン
（佐世保市～波佐見町～川棚町～東彼杵町） |
| 7/20 政調キャラバン
（南島原市～島原市～雲仙市～吉岐） | 10/1 観光関係者との意見交換会 |
| 11 県保育推進、県保育協会との勉強会 | 10/5 人材確保部会 知事へ提言 |
| 7/21 政調キャラバン（対馬市） | 10/9 長崎市との意見交換会 |
| 8/20 県医師会との意見交換会 | ★10/16～27 決算審査（県議会） |
| 8/21 県歯科医師会との意見交換会 | 10/13 十八親和銀行との意見交換会 |
| | 10/23 県老人福祉協議会との意見交換会 |